

宮城労働局長が「ベストプラクティス企業」を訪問しました

～株式会社復建技術コンサルタントの取組について～

代田宮城労働局長は、過重労働解消キャンペーンの一環として、令和元年12月2日に、長時間労働削減等に積極的に取り組んでいる「ベストプラクティス企業」として、株式会社復建技術コンサルタントを訪問しましたので、同社における主な取組内容等をご紹介します。

企業名 株式会社復建技術コンサルタント

社員数 338名

本社所在地 仙台市青葉区錦町一丁目7番25号

事業内容 建設コンサルタント等

局長訪問

本社を訪問し、菅原稔郎社長、塚田利彦専務取締役、高橋伸彰総務人事部長、北村達也総務人事課長から取組内容についてお話を伺い、意見交換をしました。



(本社)



(取組内容についての説明)

取組内容

1 ワークライフバランス推進活動の継続的な実施

健康で意欲的に働くことができるために、ワークライフバランスの定着を目的とした活動（ワークライフバランス推進活動）を継続的に行い、部署ごとに、コミュニケーションの活性化（見える化、言える化による業務の平準化）、業務の効率化、会議の在り方・進め方等について四半期ごとに推進会議を開催し、年始に開催される成果発表会において、取組状況を発表している。

2 労働時間の適正化

勤務システムに入力した労働時間が真正か、パソコンのログから確認し、時間に相違が認められる場合には、本人に確認している。

3 早期帰宅の促進

残業の申請がない場合、終業時刻の30分後には、強制的にパソコンをシャットダウンさせ、早期帰宅を促している。

4 有給休暇の取得促進

ゴールデンウィークや盆、年末年始、所定休日と祝日の間に労働日がある月等を有給休暇取得強化月間として、有給休暇の取得促進を奨励している。

5 健康経営の取組

健康経営を心掛けており、健康診断受診率100%を維持するとともに、産業医や健康保険組合と連携し、労働者の健康課題改善に取り組んでいる。

実績

*労働者1人当たりの月平均時間外・休日労働時間

平成28年度：23.8時間

平成29年度：20.5時間

平成30年度：17.6時間

*労働者1人当たりの有給休暇の取得率

平成28年：56.4%

平成29年：61.0%

平成30年：61.0%



(意見交換：菅原社長)



(意見交換：代田局長)

(1) 宮城労働局

御社ではワークライフバランス推進活動を継続的に行い、成果を上げているとのことですが、ワークライフバランスの取組において、苦勞されたことはありますか。

株式会社復建技術コンサルタント

自分たちが従来やってきたことを変えることは、なかなか難しく、習慣化できるまでが大変でした。

また、自分たちの成功体験に拘らず、管理者クラスの意識が変わることが必要です。

宮城労働局

御社のワークライフバランスの取組に対して、発注者の対応はどうか。

株式会社復建技術コンサルタント

ノー残業デーやシャットダウン等、ワークライフバランスの取組を業務計画書に記載しご理解いただいています。

宮城労働局

勤務時間外に電話があり、次の日に、なぜ居なかったのかということを繰り返されたら困るということですね。

株式会社復建技術コンサルタント

帰宅間際に、資料を明日まで提出して欲しいと言われても、なかなか対応が難しいわけです。発注者の理解がかなり進んだので、取組やすくなりました。

現在、ウィークリースタンス（*注）が発注者からの特記仕様書に謳われており、打ち合わせは勤務時間内に行う等、ワークライフバランスの推進が図られており、発注者側からも率先してやっていただいています。

(2) 宮城労働局

早期帰宅の促進のため、御社では、残業の申請がない場合、強制的にパソコンをシャットダウンされているとのことですが、強制的にパソコンをシャットダウンすることについて、取引先との関係もあると思うのですが、社員から困るという声が出ませんでしたか。

株式会社復建技術コンサルタント

技術者には拘りがありますので、自分が納得できるものを作りたいとの考えから、当初はだいぶ反対意見もありました。

一方で若い社員は、上司を見ながら仕事をしており、上司が帰らないと帰りづらいということもあるので、パソコンをシャットダウンすることによって帰りやすくなったと思います。

(3) 宮城労働局

御社では社員が増えているとのことですが、社員の採用において工夫されていることはありますか。

株式会社復建技術コンサルタント

当社では、インターンシップの受け入れを積極的に行っています。インターンシップを経験すると、仕事の内容がどういうものかわかりますし、会社の雰囲気も肌で感じることでインパクトは強いと思います。実際、新卒採用に占めるインターンシップ参加者の割合は年々高まっています。

また、会社説明会でワークライフバランスや健康経営の取組についても触れ、「建設コンサルタントは残業が多い」という古きイメージを払拭するよう努めています。

宮城労働局

女性社員は増えていますか。

株式会社復建技術コンサルタント

着実に増えています。毎年、14～15人採用していますが、この内3～4人ぐらいは女性技術者です。

(4) **宮城労働局**

御社では、若手社員の育成について、どのようなことを実施されていますか。

株式会社復建技術コンサルタント

資格取得を積極的に支援しています。特に建設コンサルタント技術者として必須となる「技術士」に関しては、外部の教育機関に依頼し受験対策講座を社内で開催しています。

その他にも、技術講習会への派遣や年1回社内で開催される技術論文発表会を通じ技術力だけでなくプレゼンテーション力の向上にも力を入れています。

(*注) 「ウィークリースタンス」とは、業務や工事を円滑化かつ効率的に進めるため、受発注者間における仕事の進め方として、一週間における受発注者間相互のルールや約束事、スタンスを目標として定め、計画的に業務を履行することにより、業務環境等を改善し、よりいっそう魅力ある仕事や職場の創造に努めることを目的に実施するもの。